

中野区シティプロモーションの取組状況について

区民の区に対する愛着や誇りと区内外の人々の中野区の推奨気運の醸成及び新しい中野への期待感の向上等による定住人口・昼間人口の増加により、まちの活力を高めることを目指して推進している中野区シティプロモーションについて、取組状況を報告する。

1 今年度進めてきた主な取組について

(1) 情報発信事業

① SNS（インスタグラム等）を活用した情報発信

シティプロモーションのキャラクターである「中野大好きナカノさん」を通じた区の魅力発信を平成31年2月の開始から継続して実施している。令和元年12月時点でインスタグラム163件、ツイッター406件を投稿している。

② 区民参加による情報発信

区からの情報発信に加えて区民等による区の魅力の発信が促進されるよう、次の施策を実施している。

ア キャラクター人形の貸出し及び中野が好きです会員の運用

令和元年8月より、区立図書館及び区役所でキャラクター人形の貸出しを開始した。また、区民をはじめとした多くの人のシティプロモーションへの参加を促すため、キャラクター人形を模したキーホルダーを中野が好きです会員の会員証として希望者に交付した。会員数は1,235人(令和元年12月時点)。

イ 商店街、商店と連携した発信

令和元年8月より、地域の商店からも区の魅力発信がされるように、商店街へキャラクター人形の貸出しを開始した。また、キャラクター人形またはキーホルダーを提示した来店者に特典を提供する協力店舗を募集した。協力店舗は19店舗(令和元年12月時点)。

ウ 区民参加型事業

参加者によるSNS等での区の魅力発信や、参加者同士の情報交換等により、区民自身が区の魅力を発見・再認識する機会となるよう、実施した。計5回(令和元年8月、9月、11月、令和2年1月、2月)実施(予定含む)、11月までに延47人が参加した。

③ 大型ポスター展示による発信

区内で活動する人に焦点を当てたシティプロモーションとして、令和元年9月下旬から約1か月間、中野サンモール商店街空中ギャラリーに大型ポスターの展示を行った。

(2) ワークショップ

区民、区内企業、大学、商店街等と区の魅力やまちの未来について考え、区に対する愛着や区への参加意識を醸成し、区の取組への参画者を増やすことを目的に、次の3つのワークショップを実施している。令和2年3月には合同で報告会を実施する。

① 区民生活をテーマとしたワークショップ

中野で育つ子どもたちの輝く個性の表現をテーマに、子どもたちがTシャツやパネルに自由にペイントするワークショップを令和元年9月に2日間実施し、延273人の子どもが参加した。

② 大学連携ワークショップ

明治大学と連携し、区への愛着の醸成や来街者増加の視点を取り入れたプロモーションプランを作成するワークショップを国際日本学部の16人の学生を中心に令和元年9月から12月まで全9回実施した。

③ 企業連携等によるワークショップ

区に本社・事業所を有する企業が連携し、これまでのワークショップで出たアイデアを実現するため、区民や商店街等の協力を得ながら令和元年8月から令和2年2月にかけて全5回の予定で実施している。

(3) シティプロモーション事業助成

民間が主体的に行うシティプロモーションの活動を促進し、シティプロモーションへの新たな参画者の増加及び区の魅力が区内外に効果的に発信されることを目的に助成制度を開始し、9事業に対して助成を行った。

2 今年度を実施予定のその他の取組について

(1) 地域プロモーション

区民活動センターごとの15地域より地域の魅力的なスポットを推薦してもらい、シティプロモーションキャラクターが登場するポスターを作成・掲示し、地域の魅力をPRするとともに、地域における愛着の醸成に取り組む。

(2) キャラクターイメージ使用の促進

民間が行うシティプロモーションによる区内経済の活性化や区のPRに向けて、一定のガイドラインに基づき、企業や団体によるキャラクターの写真等の使用を促進する。また、区のシティプロモーションに大きく寄与する効果があると認められる事業については、審査の上、特例的にキャラクターデザインの改変を認めることとする。

3 令和2年度の取組について

令和2年度は3か年の最終年度として、令和3年度以降、区民や様々な主体によるシティプロモーションにつながる自主的な活動が生まれるよう取組を進める。

(1) 情報発信事業

区民が情報発信(SNS等)の主体的な運用に参画することを目指し、区からの一方的な発信ではなく、区の魅力を区民とともに考えながら発信する仕組みを作る。

(2) ナカノミライブプロジェクト

これまでのワークショップの活動で培われた協力関係等を生かしながら、まちの活力を高めることを共通目標とし、企業をはじめとした民間による自主的な活動を生み出すための、意見交換の機会を提供していく。

(3) シティプロモーション事業助成

シティプロモーション事業助成については、令和2年度も継続して実施する。